

Adobe Creative Cloudライブラリ

:生産性の向上

クリエイティブチームの

ライブラリを使用することによる生産性への影響は非常に大きくなる可能性があります。この調査でベンチマークされた15のワークフローシナリオすべてに基づくと、ライブラリとの共有は他の方法よりもほぼ8倍高速でした。(下のグラフを参照してください。)

主要なベンチマーク結果: ありの15のワークフローシナリオの平均

この調査についてこの

レポートは、アドビのファイファーコンサルティングが実施した市場固有のベンチマークプロジェクトの調査結果を示しています。調査の主な目的は、電子メール、サーバー、クラウドなどの設計要素を共有する他の方法で得られた結果と比較して、アセットと設定を共有するためのCreativeCloudライブラリの使用に関連する効率と生産性の向上を文書化することでした。ストレージ。

ベンチマークは、使用して実行されました Pfeiffer Consultingの生産性ベンチマークの方法論を。これは10年以上にわたって微調整されており、経験豊富なオペレーターが特定のタスクを実行するのにかかる時間を測定します。詳細については、このドキュメントの最後のページにある方法論のセクションを参照してください。

ライブラリについて

CreativeCloudライブラリは、グラフィックや画像、テキストスタイル、色見本などのアセットを保存および取得できるようにすることで、クリエイティブプロフェッショナルのワークフローを合理化するために導入されました。ライブラリは、個々のユーザーの作業をスピードアップするだけでなく、他のチームメンバーや外部のコラボレーターと共有できるため、コラボレーションを加速します。ライブラリ内のアイテムに変更が発生すると、ライブラリにアクセスできるすべてのユーザーに対して自動的に更新されます。

ライブラリ(13%)

ライブラリなし(100%)

ソリューションごとの15の異なるワークフローシナリオの平均に基づくグラフ。合計186の個別のベンチマーク測定が行われました。参照値:ライブラリなしで作業する場合の平均時間。短いほど良いです。

エグゼクティブサマリー

†ライブラリは重要なCreativeCloudエコシステムの拡張であり、さまざまなアプリケーション間の統合を強化し、ワークフローの生産性を向上させ、アセットと設定の共有と更新を従来の方法よりもはるかに簡単にします。

†ライブラリの生産性への影響は、クリエイティブチームにとって特に顕著です。共有アセットの使用と変更されたコンテンツの更新は、個々のファイルを操作するよりもライブラリを使用する方がはるかに高速です。

†ライブラリを使用すると、でき企業ブランドの確保ます一貫性は幅広いクリエイティブプロジェクトでを。

†この調査のために実施されたベンチマークは、ライブラリを使用に関連する生産性の向上が非常に重要である可能性があることを示しています。(下のグラフを参照してください。)

Cloudライブラリ:コアの生産性の利点

グラフを参照してください。)

ライブラリとモバイルアプリ

アドビは、スマートフォンやタブレットで実行されるコンパニオンアプリを提供することにより、CreativeCloudエコシステムをデスクトップアプリケーションの領域を超えて拡張してきました。ますます、これらのアプリがデスクトップの兄弟と統合する好ましい方法はを

ライブラリのしくみライブラリ

は、その核となる部分で、頻繁に使用するアイテムや設定を1つの特定のアプリケーション内で保存およびアクセスするための便利な方法です。、さらに重要なのは、他のCreative Cloudアプリでも同様です。たとえば、PhotoshopまたはXDユーザーがIllustratorグラフィックスを利用できるようにしたり、異なるアプリケーション間で文字や段落のスタイルを転送したりするためです。この機能により、Creative Cloudエコシステムへの統合が大幅に改善され、IllustratorやAfter Effects、InDesign、Dimensionなどのさまざまなアプリケーションが結び付けられます。

ライブラリを使用することによる生産性への影響は、非常に単純な例でも明らかです。したがって、ライブラリからベクターグラフィックを配置する方が、ローカルハードドライブ上のファイルからフェッチするよりもほぼ3倍高速です。(下の

、ローカルファイルからのアセットのロードとライブラリの使用比較すること
タイムスケール(秒単位)のです。すべてのデータは、3つの個別のベンチマークの平均です
。短いほど良いです。

0 5 10 15 20 25 30 35

主なポイント

ライブラリは、頻繁に使用するアセットを保存および共有するための便利で効率的な方法です画像、グラフィック、タイプ仕様、カラーパレットなど、

ライブラリを使用だけでなく、**Creative Cloud**アプリ間の統合がはるかに簡単になり、アセットできるように、をチーム間で共有自動同期間で変更された要素のがアプリケーションとユーザー可能になります。

t Creative Cloudデスクトップアプリは、ライブラリを整理および管理するためのハブとして機能し、クリエイティブアセットの並べ替え、グループ化、およびインポートを支援します。

		3秒です。	
--	--	-------	--

クリエイティブの専門家は、ハードドライブ上の以前のプロジェクトから、頻繁に使用するアセットやスタイルシートなどの設定を取得することがよくあります。これらのベンチマークが示すように、ライブラリを使用してこれらのタスクを完了する方がはるかに効率的です。

既存のアセットをロードし

Adobe CC Librariesの生産性ベンチマーク2

グループとメモ

多くのユーザーがライブラリに数百または数千のアイテムを収集する可能性は低いですが、ライブラリは実際には非常に大きなデータセット(最新のカウントではライブラリあたり最大10,000アイテム)を処理できます。正しいアイテムを見つけるのは難しいかもしれません。

この問題に対処するために、Librariesには、多数のアセットでの作業を高速化するいくつかの方法があります。もちろん、グループもあります。アイテムはタイプごとに自動的にグループ化できますが、ユーザーは、たとえば特定のプロジェクトに不可欠なすべての要素を組み合わせ、カスタムグループを作成することもできます。

同様に重要なのは、ユーザーが各アイテムに添付できるメモです。メモとアイテム名の両方を検索できるため、大規模なライブラリ内の正しいアイテムを非常に効率的に特定できます。

ライブラリ。適切な例: Adobe Capture。このアプリは、クリエイティブが仕事のために現実世界の要素を収集できるように設計されています。ブラシとして使用される現実世界の詳細は言うまでもなく、歩き回っているときに見られる書体を認識し、ベクターシェイプ、カラーパレット、外観、パターンをキャプチャできます。Photoshopで、そして Adobe Dimensionでの3D視覚化のための素材でさえ。キャ

プチャされたすべてのアイテムは、現在選択されているライブラリに送信され、互換性のあるすべてのアプリですぐに利用できます。

コラボレーションの角度

さまざまなアプリケーションを仕事で組み合わせている個々のユーザーにとって、ライブラリには明らかな利点がありますが、生産性の向上が最も注目しているのはコラボレーションのコンテキストです。

同じプロジェクトに取り組んでいるクリエイティブプロフェッショナルは、通常、デザイン要素、グラフィックス、タイプスタイルやカラーパレットなどの設定を、電子メールへの添付、サーバー上での共有、クラウドストレージの使用という3つの異なる方法のいずれかで共有します。これらのファイルにアクセスできるようにします。個別に、これらの操作には1、2分しかかからない場合がありますが、ベンチマークが示すように、共同設計プロセスでの頻度は時間の経過とともにかなり増加します。(7ページの表を参照)

ライブラリを使用することの別の、定量化が難しい利点も指摘する必要があります。アセットと設定を共有する従来の方法を回避することで、チームメンバーが誤って古いバージョンを使用するリスクも大幅に軽減されます。アイテムの。

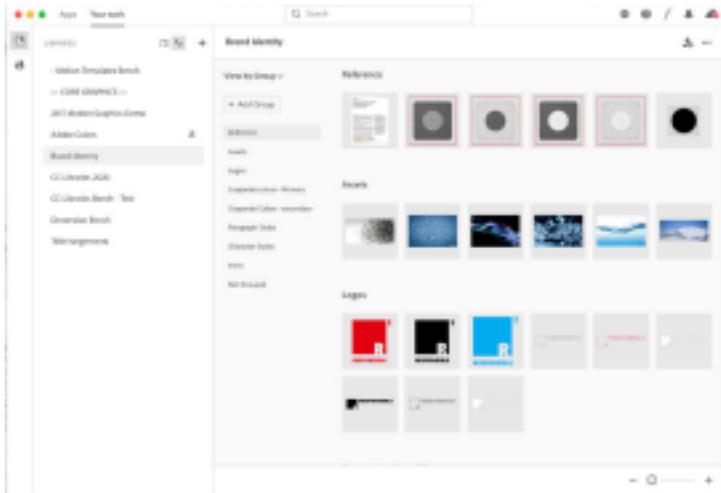
Creative Cloudデスクトップアプリ:ライブラリの...

管理などライブラリはライブラリアセットを管理および整理するためのオプションを提供します、各使用できる[ライブラリ]パネルで直接作成されるため、アプリケーションで。これは十分に機能しますがをための最も効率的な方法ではありません、より包括的な管理タスク処理する。

そこで、CreativeCloudデスクトップアプリの新しいリリースが登場します。CreativeCloudアプリの以前のリリースは、主にに

アプリケーションのインストールと更新のダウンロード重点を置いていましたが

、Creative Cloudデスクトップアプリは、特にライブラリを管理するための便利な方法を提供します。チームワークフロー。



実際には機能セットを拡張して、Creative Cloudユーザーに不可欠なさまざまな側面のハブのように機能します。アプリダウンロードと更新

もちろんのだけでなく、利用可能なアプリの詳細情報の検索、Creativeのチュートリアルへのアクセスも可能です。クラウドアプリケーション、およびクリエイティブアセット、特にライブラリの管理。

具体的には、Creative Cloudデスクトップアプリを使用して、ユーザーはライブラリを作成および管理し、アイテムを一括で追加し、サイズ変更可能なプレビューでアセットを表示し、もちろんアイテムの名前を変更して再編成し、ライブラリに保存されているアセットをエクスポートできます。

Creative Cloudアセットにアクセスする新しいバージョンは、

Adobe CCLibrariesの生産性ベンチマーク3Creative

Cloud Librariesがチームコラボレーションをどのようにスピードアップするかクリエイティブ

ログラムが含まれます。それぞれの出力を効率的な方法で統合および結合することは、クリエイティブチームのワークフローを管理する上での主要な課題の1つです。

これらすべてのアプリケーションからのデータを統合することはよく理解されているプロセスですが、最小限の摩擦で統合することは依然として課題です。この調査のベンチマークが示すように、すべてのアプリケーションにわたって透過的な方法でコアクリエイティブアセットへのアクセスを提供することにより、ライブラリはチームの生産性に大きな影響を与えることができます。

これらの生産性向上の重要な側面は、1回の操作(たとえば、企業のファイルサーバーを使用する代わりにライブラリを介してクリエイティブアセットにアクセスする)で数秒または数分の生産性向上が数時間かかるという事実に基づいています。チームの規模での時間節約の。(5ページと7ページのチャートを参照してください)。

コラボレーションベンチマーク: 資産の共有(電子メール/サーバーの平均) 時間スケール(秒単位)。すべてのデータは、3つの個別のベンチマークの平均です。
。短いほど良いです。

スペース

でのチームコラボレーション最良の状況下では、チームコラボレーションは複雑な問題であり、慎重な計画が必要です。クリエイティブチームの場合、プログラム、データ形式、および関連する能力の多様性を考えると、複雑さと潜在的な問題が指数関数的に上昇する可能性があります。

実際には、各クリエイティブプロジェクトには通常、Photoshop、Illustrator、InDesign、XDなどのさまざまなプ

31秒。		2分33秒
------	--	-------

やプロジェクト全体です。

↑ ライブラリをWordやPowerPointなどのMicrosoft Officeアプリケーションと統合することで、企業はオフィスのドキュメントやプレゼンテーションで企業の設計資産の一貫性を保証できます。

共有と配置
一つの図形をし、
見本のセット

の主なポイントは、

↑ ワークグループ間で共有資産と設定にライブラリの使用 非常に重要な生産性の向上を提供することができます 共有の他の方法に比べて。

↑ ライブラリは、企業がするのに役立ち、クリエイティブプロジェクトのブランドの一貫性をより効率的に管理 チーム

色見本やスタイルシートなどの設定の共有は、これらのデータ、従来の方法を使用すると時間がかかり、を別のアプリケーションで使用するためにプログラムから特別にエクスポートする必要があるためです。このグラフのデータは、ファイルサーバーまたは電子メールを使用してこれらのタスクを完了した場合の平均ベンチマーク結果を示しています。ライブラリには、これらの操作に対して非常に重要な生産性の利点があります。

Adobe CC Librariesの生産性ベンチマーク4

生産性を超えて、Librariesを使用すると、企業のクリエイティブプロジェクトにおける他の重要な側面であるブランドの一貫性を保証できます。企業資産は言うまでもなく、書体、カラーパレットなどの企業アイデンティティのコア要素が一貫して使用され、最新の正しいバージョンで広く適用されていることを確認することが不可欠です。

それでも、関連するアプリケーションの複雑さと多様性を考えると、これは困難な場合があります。特に、プロジェクトに取り組んでいるクリエイティブのリストは、社内のクリエイティブチームを超えて、アクセスできない外部の同僚に向かう傾向があるためです。アセットが保存されている

サーバー。一方、ライブラリは、ライブラリに保証アクセスできるすべての人が常に最新バージョンのアセットまたは設定を持っていること、およびリビジョンが発生すると自動的に更新されることをします。

オフィス環境との統合:ライブラリは、企業コミュニケーションの2つの主要なアプリケーションであるMicrosoft WordとPowerPointとの統合を提供し、オフィスユーザーが企業資産に簡単にアクセスできるようにし、正しいバージョンが使用されるようにして、ブランドの一貫性を領域を超えて効果的に拡張します。クリエイティブなアプリケーション。

ライブラリコラボレーションベンチマーク: 主な結果

ライブラリを介したアセットの共有: クリエイティブチームは通常、ファイルサーバー、電子メール、またはクラウドストレージソリューションを使用してアセットと設定を共有しますが、これらの方法は

1つのアセットを同僚と共有するために必要な時間です(ベストケース

た。

ライブラリを使用すると同僚と1つのアイテムを共有するのに必要な時間は、ベン

チマークでは平均30秒未満でしたが、他の方法では3~4倍長かかります

シナリオ) 秒単位のタイムスケール。すべてのデータは、3つの個別のベンチマークの平均です。短いほど良いです。

0 20 40 60 80

ライブラリの

使用サーバーの使用電子メールの

使用クラウドストレージの使用

24秒。	
------	--

デザインコラボレーション: ベンチマークでは、デザイナーが**チマーク** 秒単位でタイムスケール。すべてのデータは、3つの個別のベンチマークの平均です。**短いほど良いです。**
 企業レポートのInDesignレイアウトに10個の個別のグラフを配置し、1回の反復が発生したときにそれらを更新するのに必要な時間を測定しました。ライブラリを使用すると、これらのタスクは、電子メールでグラフや更新を共有するよりも3倍速く完了することができます。

チームコラボレーションベンチマーク: このベンチマークは、アクセスしている5人のクリエイティブのチームが費やした合計時間を分析しました
 クラウドストレージを使用してアセットに配置し、変更後にアセットを更新。これらの操作では、ライブラリが劇的に高速になります。特に、ライブラリから取得したアセットの更新がインスタンスごとに自動的に実行されるためです。

コラボレーションベンチマーク: IllustratorとInDesignのタイムスケール(秒単位)。すべてのデータは、3つの個別のベンチマークの平均です。**短いほど良いです。**

0501001502001

分12			3分34秒	して ライブラリ せず ライブラリの
-----	--	--	-------	-----------------------------

0 100 200 300 400 500 600

44 秒。					と ライブラリ なし 図書館	23秒
-------	--	--	--	--	-------------------------	-----

1つのアセット共有し
をチームメンバーと、
1回の反復を更新する

配置と更新
10のIllustratorのグラフを
企業レポートで

チーム5(クラウドストレージを使用して)の: チームコラボレーションのベン

ました。

Adobe CCLibraries生産性ベンチマーク6比例する

ライブラリがチームサイズにどのようにか

	による時間の節約サーバーを使用した場合と比較して、ライブラリを使用してアセットを共有することで節約された時間			
	発生数			
チームのサイズ	1	5	10	20
1 1	回の操作で節約された時間:52秒。	04分19秒	08分39秒	17分18秒
5	04分。19秒	21分37秒	43分15秒	1時間。26分30秒
10	08分。39秒	43分15秒	1時間。26分30秒	2時間。52分59秒
15	12分。58秒	1時間。04分52秒	2時間。09分45秒	4時間。19分29秒

サーバーの代わりにライブラリを使用し

てアセットを共有すると、ユーザーは1回の操作で少なくとも52秒節約できます。(5ページのチャートを参照)。チームの規模と操作の数が増えると、この単純な操作の時間の節約は簡単に数時間に達する可能性があります。

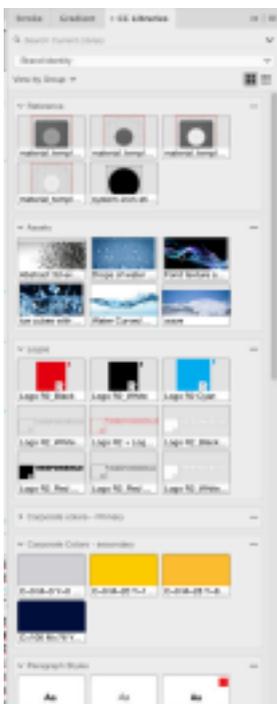
要素の数、UXデザインはコアデザインコンセプトのバリエーションに基づいており、スタイルとグラフィック要素の点で一貫している必要がある数十または数百の画面レイアウトにわたって繰り返されます。

さらに、UXデザインは通常XDなどのアプリケーションで行われますが、通常はクリエイティブチームの他のメンバーによって作成されたPhotoshopまたはIllustratorの要素を大い

に利用します。これらすべての要素の同期を維持し、アイコンまたはデザイン要素のすべてのインスタンスに反復が自動的に波及するようにすることは、時間のかかるだけでなく、困難な場合があります。

IllustratorまたはPhotoshopファイルをインポートする代わりにライブラリを使用すると、必要なすべての要素をライブラリに保存および整理でき、XDで作成されたUXデザイン全体で自動的に更新されるため、この統合が大幅に容易になり、合理化されます。

ライブラリを使用した企業スタイルガイドの作成



スタイルガイドまたはブランドマニュアルは、企業基礎を確保するために必要なすべての情報をまとめているため、アイデンティティのブランドの一貫性。企業のタイプフェイス、異なるロゴデザイン企業の商標の使用の可能性ごとに、色見本、企業イメージなど。

これらのブランドマニュアルはデザイナーにとって不可欠ですが、などの情報をそれらを有効に活用するには時間がかかりCMYKやコーポレートカラーのWebセーフ値検索する必要があるため、まず手動で実装。これは遅いだけではありません(を参照)。前のグラフィックの)が、エラーが発生しやすい可能性もあります。

ライブラリは、ユーザー、このプロセスを大幅に簡素化が色見本、段落と文字のスタイル、直接アクセスできるようにできます企業資産、承認されたグラフィック要素にしそれらの維持すること、同期をで。ライブラリでこのようなスタイルガイドを作成するのは簡単です。

適切にフォーマットされた要素を選択して追加するだけで、すべてのユーザーに対して常に同期されています。

ライブラリで、企業のスタイルガイドの主要なアセット、適切なライブラリ。設定、仕様を組み立てることができます。アイテムはす

さらに、デザイン要素は、要素タイプごとに自動要素に追加して、ブランドの一貫性を保証するためにグループ化することも、カスタムグループのための正確な使用方法やその他の重要な情報収集することもできます。検索可能なメモを各 を提供できます。

Adobe CC Libraries生産性ベンチマーク7

方法論

このベンチマークプロジェクトは、Adobeから委託され、PfeifferConsultingによって独自に実行されました。

このドキュメントに示されているすべての生産性測定は、実際のワークフローの例に基づいてによって設計および実行されており、関連するプログラムと長年の経験を持つ専門家ワークフローにいます。

生産性測定方法

の基本的なアプローチは単純です。生産性の向上を評価するためにプログラムまたはソリューションがもたらす(またはもたらさない)ことから始めを達成するために必要な最小ステップ数を分析する、各アプリケーションで特定の結果ます。する必要のあるワークフロー比較。

このアクションのリストが明確に確立されたらを開始し
の助けを借りて、各ソリューションで操作またはワークフローの実行ます
、長年の経験を持つ経験豊富な専門家
フィールドでとテストされたソリューション。

ステップのすべてのセットが3回実行され、3つの平均メジャーのが使用されます。

PfeifferConsultingについてPfeifferConsulting

は、独立した技術調査および出版、デジタルのニーズに焦点を当てた、ベンチマーク操作コンテンツ制作、および新しいメディアの専門家です。

詳細については、問い合わせください。

research

@ pfeifferreport.com|おすべてのテキストとイラスト©PfeifferConsulting2019
。事前の書面による承認なしに複製することは禁じられています。
詳細については、research @ pfeifferreport.comにお問い合わせください。

このレポートに示されているデータは、評価と一般的なシミュレーションであり、
情報提供のみを目的として伝達されています。この情報は、提供することを意図したものでもありません
、既存の企業やに関する特定の生産性調査や計算に取って代わるもの
ワークフローの状況。Pfeiffer Consultingはた使用または
含まれる情報、アドバイス、または推奨事項に基づいて行われ行動方針について一切の
、このレポートに責任を負わず購入、機器、投資、またはについて責任を負わないもの
、データに基づくその他の決定や取り組みとします。このレポートまたは提供され
関連ドキュメントです。

Adobe、Adobeロゴ、Creative Cloud、Illustrator、およびPhotoshopは登録
、Adobe SystemsIncorporatedの米国およびにおける商標または商標です
その他の国。他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。